

NANIWA 54号

予想外な対応に、いいかげんにしろ。 京阪神3支店とも、小森氏対応。

20日、京阪神支店要請を西日本の仲間と一緒に行動しました。

今回は、淀屋橋にある梅田支社前にて「朝ビラ」を開始し、始業時間前にはストにはいる旨の用意とスト宣告をしました。その後支店要請を行ないました。会社は2府4県担当というご存知小森氏と、支店2名が対応。1Fのエレベーター前でやりとりとなりました。会社は、相変わらず「会議室は用意していない。ここで要請を受ける」というお決まりの言葉。「回答はどうなった?」「コメントはもらえませんでした」「あなたと長く話していてもいっこうに埒があかない。こちら忙しいんだ」と言うと、「私も忙しい(小笑い)」。一日中、今日について回るのだろうと推測しました。

次に神戸支店へ移動しました。支店前、元町駅前にてビラと宣伝活動を行ない、支店要請をしました。すると、また、小森氏と支店他1名で対応する形となり、開口一番「こちらについても会議室は用意していません。確かに受け取りました。支店長、本店へ伝える」と、いつも通りのロボット対応でした。

そして、京都支店へ。支店前宣伝とビラを行い、いざ要請へ。するとまたまた、そこに見慣れた小森氏の顔がありました。「会議室はいっぱいですが、こちらに座れるところありますので」と、エントランスに得意げに案内するも「外でちゃんと話しをしよう」ということになり、人通りの多い中、マイク越しのやりとりとなりました。

「労組が会議室貸してくれといったら、貸さないのか?」「...」支店サイドに会議室の状況を確認した上で、「8Fならば...」ということでしたが、小森氏がゴソゴソ動き回り「ここでしか受けられない」と言うことになりました。だれがこんなことを意地になって指示しているのかは小森氏の顔に書いてありました。2府4県担当の、うえのうえで責任者であると言い、露口氏・大塚氏ラインに逐一報告をし、「私の対応がおかしいですか」と居直る、こんな人が東京海上日動火災の本社直結の人事担当者であるということに戸惑いを覚えません。

3支店の要請行動をした感想として、小森氏は、責任者ではあるが、何も決定権もなく、ただ指示どおりにしか動かないというこの会社の怖さ、お粗末さを垣間見ました。

本日

西日本の仲間はみんなスト宣言し、看板を置き、スト指令を机に貼り、整斉と取り組みました。

次回ストについても同じように徹底的にたたかいます。今後の会社の出方によっては現場でやりとりがされる場面も予想されます。このたたかいに自信を持ち、26日の裁判判決を受け止め、総行動をしていきましょう。

交流会

その後の交流会でもみんな盛りあがりに盛りあがりました。結束は強くなる一方、横の連絡のつながりの濃さにも驚くばかり。みんなが同じ職場にいるような感じです。

また、ビデオからDVD化して配信予定です。迫力ありますよ。

大阪分会は、「スト決行中」の横断幕を背にたたかっています。

さあ、私たちの主張がしっかりと示されるときだ。一人残らずたたかいぬくぞ。

ひとりはみんなのために みんなはひとりのために

全損保日勤外勤支部大阪分会